

D3 郭清を伴う腹腔鏡補助下 S 状結腸・直腸切除術における 左結腸動脈温存に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

当院では進行 S 状結腸癌、直腸癌症例に対して栄養血管の根元にあるリンパ節も切除する「D3 郭清」を伴う腹腔鏡補助下 S 状結腸切除術、直腸切除術を行っていますが、下腸間膜動脈根部で血管処理を行うのか、腸管血流の維持を目的として左結腸動脈などの血管を温存するかは術者の判断で決定しています。近年では、血管を温存した D3 郭清を伴う S 状結腸癌、直腸癌手術症例は温存しなかった症例と比較して短期、長期成績ともに良好であったと報告されていますが、探索的サブグループ解析で症例の偏りなどあり、結論は未だ議論されています。今回、当院で D3 郭清を伴う腹腔鏡補助下 S 状結腸・直腸切除術症例を後ろ向きに観察し、血管温存の有無によって手術の短期成績、長期成績を分析・検証します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2012 年 4 月～2020 年 11 月に当院で大腸癌の外科的治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、術前検査情報（血液検査、CT 検査、内視鏡検査など）、入院期間、手術の情報（術式、手術時間、出血量など）、術後合併症の有無、病理検査結果など

研究予定期間

2022 年 11 月 22 日～2023 年 3 月

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 秋山貴彦

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 秋山 貴彦

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)